

北海道は 本州からみて 北?東?

近代まで明確な国境がなかった **北辺地域** について、「日本人」はどのようにとらえていたのか。時代時代につくられた地図をたどっていけば、**当時の人びとが描いていた世界観、国土観が明らかになる。**

描かれた 蝦夷地・北海道 イメージの500年

【地図で読む
日本北辺史】

濱口裕介 著

定価2,200円

A5判 192頁 ISBN: 978-4-634-59151-6 C0021 (本体2,000円+税)



目次

はじめに——地図から「日本の国土像」を探る

第1部 エゾの世界と日本と日本の出会い(安土桃山時代以前)

イントロダクション

北海道がはじめて地図に描かれる 〈古代・中世日本の世界観〉

征服者秀吉の「エゾ」認識 〈統一政権の誕生と北方世界(16世紀末)〉

【コラム】 北海道は、イザナギ・イザナミが生んだ?

第2部 曖昧な領域に立つ松前藩の時代(江戸前期～中期)

イントロダクション

流行作家西鶴の蝦夷地名所案内 〈松前藩の成立(17世紀前半)〉

百科事典が語り伝えたアイヌの国々 〈シャクシャインの戦い(1669年)〉

冒険商人飛騨屋の盛衰 〈和商人の蝦夷地進出(18世紀初頭)〉

日露両国の邂逅 〈幕府の蝦夷地調査(18世紀末)〉

【コラム】 択捉島で捕らわれた「異国人」

第3部 日露の接近が招いた「蝦夷地」の終焉支配(江戸後期～明治初期)

イントロダクション

「間宮海峡発見」、その先の旅へ 〈幕府の蝦夷地支配(19世紀初頭)〉

副將軍は「北地」をめざす 〈海防論と攘夷論(19世紀前期)〉

幕末のサハリン国境守備隊 〈サハリン島をめぐる日露国境問題(1856～68年)〉

「北加伊道」と「北海道」 〈北海道の成立(1869年)〉

【コラム】 箱館戦争は「北軍」と「東軍」の戦い!?

第4部 進む北海道開拓と「内地化」の進展(明治～昭和戦前)

イントロダクション

「日本史上最大」の根室県 〈開拓使から三県一局へ(1882年)〉

忘れられた島「北州」 〈国定教科書の登場(1903年)〉

「薩哈噠(さはりん)州」への野心 〈ロシア革命干渉戦争(1918年)〉

「産婆」も地図に描かれた拓殖事情 〈根釧台地の開発(20世紀中期)〉

【コラム】 近文アイヌ給与地と幻の離宮

第5部 新しい日本の国土像創出へ(戦後～現代)

イントロダクション

地図から消えた樺太・千島 〈新しい北海道像(1945年)〉

縫い取られた兄妹の足跡 〈現代社会と先住民族の現在〉

【コラム】 「焚書」の運命を逃れた外邦図

あとがき／関連年表／主要参考文献 現在の北海道

幕末の志士坂本龍馬は(略)、当時の日本の東端を「松前より蝦夷」と書いています。なぜ、日本国土があいまいになっているのでしょうか？ なぜ現在の北海道本島を北ではなく東と表現したのでしょうか？(中略)北海道が「東」とされていた背景も、「松前より蝦夷まで」という不思議な表現が生まれた事情も、本書のなかにヒントがあります。

(はじめに「より」)

拡大希望	ご注文冊数	番線印
POP	冊	
A4パネル	新刊受注締切 8/20(水)	【ご担当名: 様】

※新刊配本に間に合いますよう、お早めのご注文をお願いいたします。



山川出版社

TEL: 03-3293-8131

※ご注文は、右記まで
FAXをお願い致します

FAX: 03-3292-6469